平成３０年度　学 校 評 価

印西市立印旛中学校

［職員，生徒，保護者の評価結果］※評価項目は，今年度よりすべて刷新した。

		職員	生徒	保護者	平均
1	教育方針･目標の理解	３．２	３．５	２．８	３．２
2	意欲的な学習態度	３．２	３．１	２．７	３．０
3	授業力の向上（わかりやすい授業）	３．５	３．２	２．４	３．０
4	家庭学習の充実	３．１	３．３	３．０	３．１
5	友達への思いやり	３．６	３．７	３．５	３．６
6	道徳･心の教育の充実（豊かな人間性を育む心の教育）	３．１	３．６	２．８	３．２
7	健康づくり（食事，運動，睡眠等）	３．５	３．３	３．０	３．３
8	一人ひとりの生徒の理解と尊重	３．２	３．４	２．７	３．１
9	いじめ問題への対応	３．４	３．５	２．８	３．２
10	学校の支援体制（教育相談体制）	３．１	３．６	２．９	３．２
11	安全と事故防止	３．３	３．７	３．０	３．３
12	施設･設備の改善･充実	２．７	３．２	２．７	２．９
13	家庭や地域との連携協力	２．８	３．２	２．８	２．９

（４段階評価）

○全体の傾向（今年度評価項目を全面的に変更したので，考察において昨年度のものと比較ができない。）
- 「家庭や地域との連携協力」 に対する評価は，教職員，保護者，生徒とも低い評価となっている。また，「施設・設備の改善・充実」については，教職員，保護者の評価が低くなっている。
- 全体的に教職員と生徒の評価に比べて，保護者の評価が低くなっている。
- 「授業力の向上」，「道徳・心の教育の充実」の項目については，教職員及び生徒と保護者の評価の差が０．８～１．１ポイントの大差となっており，保護者の評価がかなり低くなっている。
- 「友達への思いやり」，「健康づくり」，「安全と事故防止」に関する指導について，高い評価となっている。
- 保護者の評価で３．０ポイントを超えたのは，４項目にとどまった。

○課題等及び今後の方針
- 「教育方針・目標の理解」については，保護者にも理解してもらうために，授業参観や保護者会の時に効果的に資料に盛り込んだり，ホームページなどで教育方針や目標に関わる記事を掲載するなどの取組を行う。
- 授業研修会等を通して，教職員一人ひとりの授業力の向上に今後も努める。
- 「一人ひとりの生徒の理解と尊重」については，日々の観察，日常の会話や生活ノート，教科の作品などを通して，きめ細やかな生徒理解に努める。また，今後も積極的に少人数指導を推進していく。
- 教育相談の技量を高め，より一層生徒との相談体制を強化し，「いじめ問題への対応」や「友達への思いやり」について，さらに指導を充実させていく。
- 校舎や教室は古いが，工夫ある教室環境を作成したり，整理整頓が行き届いた学校づくりを進めるとともに，日々の清掃活動のさらなる充実を図りたい。
- 「道徳・心の教育の充実」では，道徳の教科化に向けた取組を充実させる。また，日常生活の中で豊かな心が育つ場面を見逃さず指導できる力量を教職員に身につけさせていく。
- 教職員の人権感覚をさらに磨き，豊かな心を育む教育を推進するとともに，いじめの未然防止，早期発見・早期対応，解消に努めていく。
- 「家庭や地域との連携協力」については，リサイクル活動，環境整備作業で多くの方に参加をお願いする。また，今まで以上に学校行事に関わる機会を増やしたり，休日の授業公開を継続する。